

瀬戸内海環境保全特別措置法に 基づく事前評価に関する書面

令和7年10月2日

申請者の住所及び氏名（法人にあっては所在地、名称、代表者名）

大分県大分市大手町3丁目1番1号
大分県
大分県知事 佐藤 樹一郎

工場又は事業場の所在地及び名称

大分県佐伯市上浦大字津井浦194番地6
大分県農林水産研究指導センター水産研究部

1 許可申請書の概要

(1) 特定施設設置(変更) の理由及び内容

魚病指導総合センターの改修工事に伴い、水質汚濁防止法施行令別表第一第71の2イに規定される洗浄施設の設置を4基行います。

当該特定施設からの汚水等はすべて佐伯市下水管から排水することとします。

(2) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少（変らず）の場合はその理由

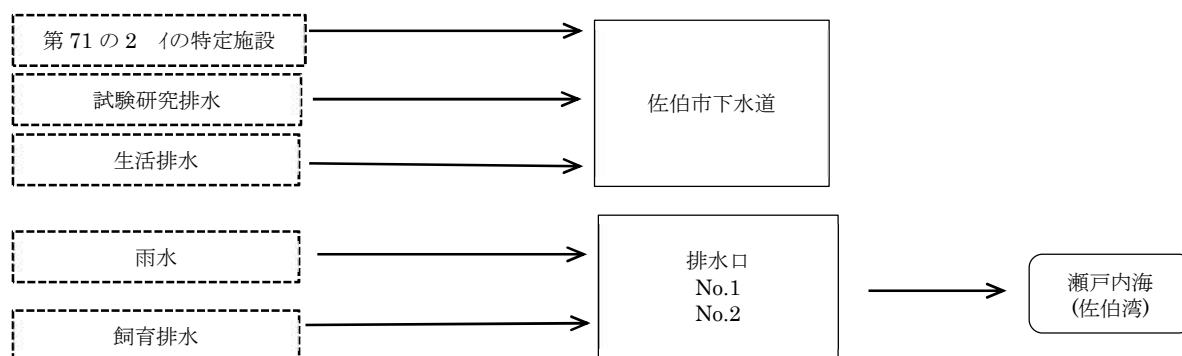
飼育排水は、通常1,008/日、最大2,006.0m³/日が佐伯湾に排出される。

今回の工事は水道設備の改修であることから、これまでの排出量については変更がなく、汚濁負荷量は変更前と同程度である。

2 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業場の排水口の位置及び数

(1) 別図1、2のとおり

(2) 排水系統及び排水経路の略図



3 工場・事業場の各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大値、
当該排出水の1日当たりの通常値及び最大値並びに当該排出水の汚濁負荷量

排水口	区 分 項 目	現 状				設置(変更)後				負荷量・水量 の増減	
		水量・水質		負 荷 量		水量・水質		負 荷 量			
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
No.1	排水量(m ³ /日)	993	1976			993	1976			0	0
	p H	5.8～ 8.6	5.8～ 8.6			5.8～ 8.6	5.8～ 8.6				
	C O D(mg/L)	2	5			2	5			0	0
	S S (mg/L)	5	10			5	10			0	0
	T - N(mg/L)	1	2			1	2			0	0
	T - P (mg/L)	1	2			1	2			0	0
No.2	排水量(m ³ /日)	15	30			15	30			0	0
	p H	5.8～ 8.6	5.8～ 8.6			5.8～ 8.6	5.8～ 8.6				
	C O D(mg/L)	2	5			2	5			0	0
	S S (mg/L)	5	10			5	10			0	0
	T - N(mg/L)	1	2			1	2			0	0
	T - P (mg/L)	1	2			1	2			0	0

※最大負荷量(kg/日)=最大排水量(m³/日)×通常水質(mg/L)×10⁻³

通常負荷量(kg/日)=通常排水量(m³/日)×通常水質 (mg/L)×10⁻³

4 工場又は事業場の排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

(1) 人の健康の保護に関する環境基準

項 目	基 準 値	項 目	基 準 値
カドミウム	0.003 mg/L以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/L以下
全シアン	検出されないこと	トリクロロエチレン	0.01 mg/L以下
鉛	0.01 mg/L以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L以下
六価クロム	0.02 mg/L以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L以下
砒素	0.01 mg/L以下	チウラム	0.006 mg/L以下
総水銀	0.0005 mg/L以下	シマジン	0.003 mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02 mg/L以下
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	検出されないこと	ベンゼン	0.01 mg/L以下
ジクロロメタン	0.02 mg/L以下	セレン	0.01 mg/L以下
四塩化炭素	0.002 mg/L以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/L以下	ふっ素	0.8 mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L以下	ほう素	1 mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下	1,4-ジオキサン	0.05 mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/L以下		

備考：海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。

(2) 生活環境の保全に関する環境基準

排 出 先 の 河 川 、 海 域 名	佐伯湾 丁水域			
環 境 基 準 点	SS t 9 ～ 1 1			
環 境 基 準 類 型	A			
基 準 値	水 素 イ オ ン 濃 度	7.8～8.3		
	生物化学的酸素要求量(mg/L)			
	化学的酸素要求量(mg/L)	2mg/L以下		
	浮 遊 物 質 量(mg/L)			
	溶 存 酸 素 量(mg/L)	7.5mg/L以上		
	大 腸 菌 数(CFU/100mL)	1,000MPN/100mL		
	n-ヘキサン抽出物質含有量 (油分等) (mg/L)	検出されないこと		
	全 窒 素(mg/L)	0.3mg/L以下		
	全 燐(mg/L)	0.03mg/L以下		

(3) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

① ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準

ダイオキシン類	1 pg-TEQ/L
---------	------------

② その他

5 周辺公共用水域の水質の現況及び排水の排出に伴い予測される 周辺公共用水域の水質の変化の程度

(1)－1 周辺公共用水域の水質の現況（河川域）

測定月日 年 月 日 ～ 年 月 日（ 回）

測定分析機関名

河川名		測定点名	
-----	--	------	--

採水 月日	時 刻	流 量 (m ³ /日)	pH (－)	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	SS (mg/L)	n-Hex (mg/L)	大腸菌数 (CFU/100mL)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	T－N (mg/L)	T－P (mg/L)	DO (mg/L)
水 質 の 現 況	月 日											
		平 均										
	月 日											
		平 均										
	月 日											
		平 均										
	総 平 均		～									
将 来 水 質												

測定点毎に用紙をかえること。

(2)－1 その他当該水域に関する事項

(1)ー 2 周辺公共用水域の水質の現況（海域）

測定月日 令和5年4月～令和6年3月

測定分析機関名 大分県（令和5年度公共用水域水質測定）

海 域 名	佐伯湾東部	測 定 点 名	SS t — 9
-------	-------	---------	----------

水 質 の 現 況	採水日時 干満の別	採水 部位	水温 (℃)	p H (－)	C O D (mg/L)	S S (mg/L)	n-Hex (mg/L)	T－N (mg/L)	T－P (mg/L)	D O (mg/L)	
	〇〇月〇〇日 〇〇：〇干満の別：	表 層									
		中 層									
		平 均									
	月 日 ： 干満の別：	表 層									
		中 層									
		平 均									
	月 日 ： 干満の別：	表 層									
		中 層									
		平 均									
	月 日 ： 干満の別：	表 層									
		中 層									
		平 均									
	月 日 ： 干満の別：	表 層									
		中 層									
		平 均									
	月 日 ： 干満の別：	表 層									
		中 層									
		平 均									
	月 日 ： 干満の別：	表 層									
		中 層									
		平 均									
	月 日 ： 干満の別：	表 層									
		中 層									
		平 均									
	月 日 ： 干満の別：	表 層									
		中 層									
		平 均									
	総 平 均			7.9～8.1	1.1	－	－	0.12	0.020	－	
	将 来 水 質				1.1	－	－	0.12	0.020	－	

測定点毎に用紙をかえること。

(2)ー 2 その他当該水域に関する事項

(3) 予測の方法

- ① 汚濁負荷量の増加の有無（有 ☐ 無 ☒)
（ただし、汚濁負荷量の増加がない場合は②③を省略する）

- ② 排出水の公共用水域での影響範囲
（河川域）－

（海 域）汚濁負荷量の増加がないため省略

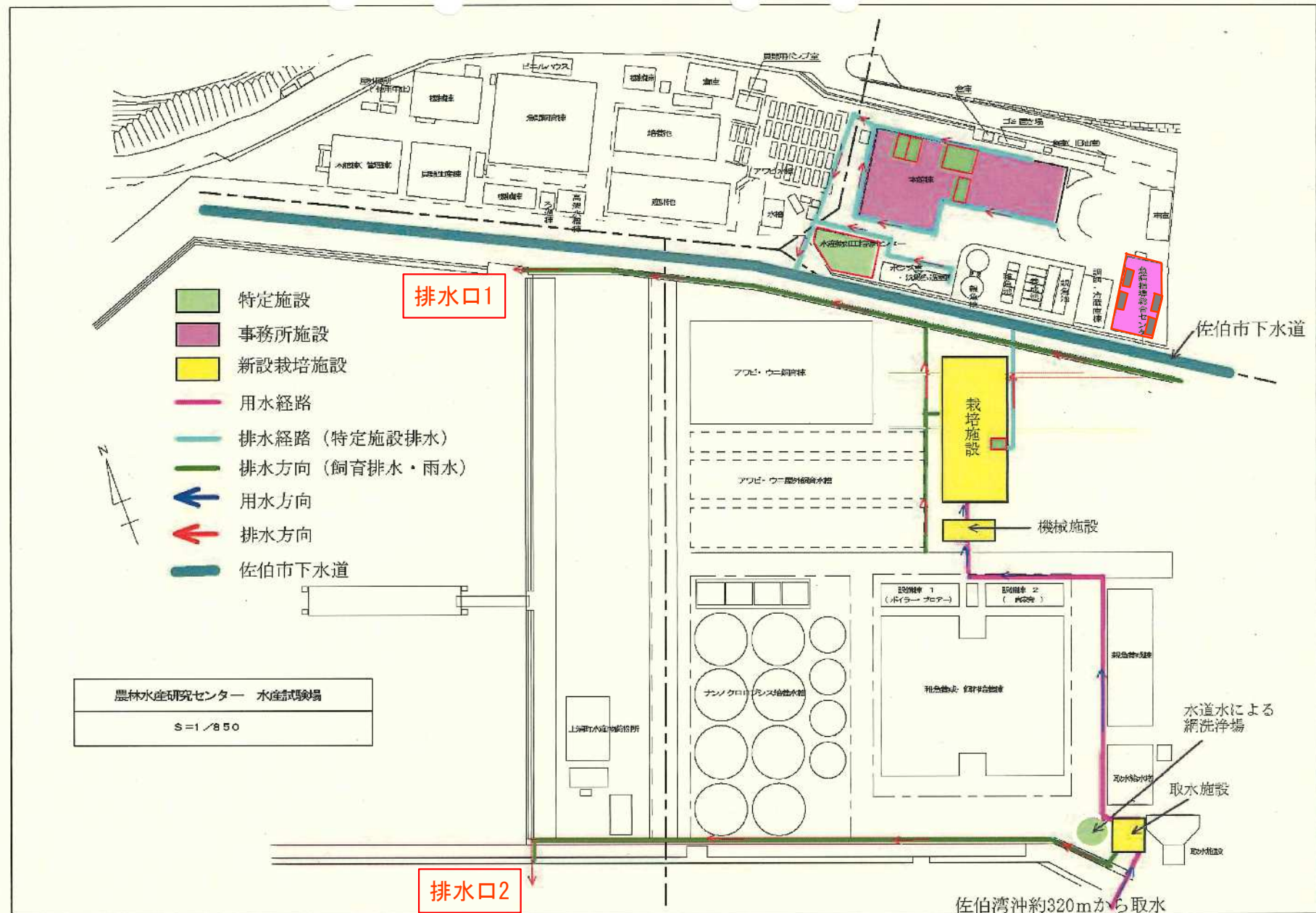
- ③－1 予測の手法（河川域）－

- ③－2 予測の手法（海域） 汚濁負荷量の増加がないため省略

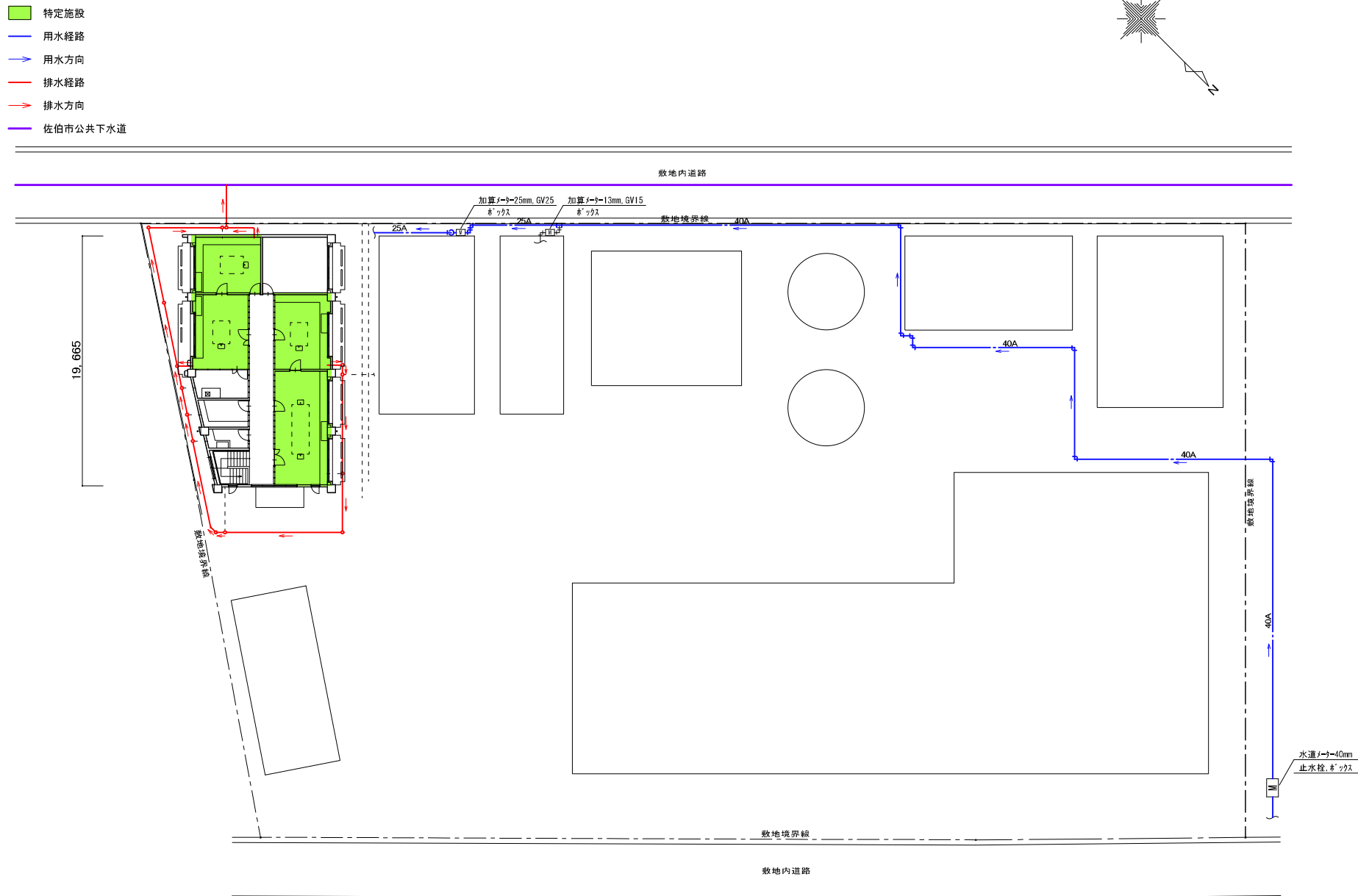
6 その他当該特定施設の設置等が環境に及ぼす影響についての 事前評価に関し参考となるべき事項

今回設置する特定施設における排水は、すべて佐伯市下水道に排水することから環境に及ぼす影響については軽微であると思われる。

別図1（排水経路並びに排水口の位置）



別図2 特定施設（7～10）の用排水経路



配置図